

## 古川黎明高等学校における災害科学課題研究のふりかえりワークショップを行いました (2018/02/27)

テーマ：総合的な学習の時間，スーパーサイエンススクール，防災教育  
場所：宮城県古川黎明高等学校（大崎市）

2月27日（火）に、宮城県古川黎明高等学校にて「SS 総合Ⅰエピソード講演会」が開催され、当研究所の佐藤翔輔准教授（情報管理・社会連携部門）がワークショップ・ファシリテーターをつとめました。同校は、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定校の一つです。SSHは、科学技術振興機構（JST）の事業で、高校等の先進的な理数教育、高大（高校－大学）の接続や共同研究を実施するための支援制度です。同校の1年生は、SSHにおけるカリキュラムにおいて、総合的な学習時間のなかで1年間、「災害科学課題研究」を実施しました。今回の講演会は、「エピソード講演会」ということで、1年間の課題研究の総括と次年度の課題研究を検討するために開かれたものになります。1年間の活動をふりかえり、次年度の課題研究の目標をグループワークで検討するワークショップ形式で開催されました。一昨年度、昨年度も同様の形式で行われ、3年連続での開催となりました。

佐藤翔輔准教授は、「SS総合Ⅰ課題研究のふりかえり 一次年度へのステップアップ」というタイトルでワークショップを行いました。課題研究をやってみて「よかったこと」「改善してみたいと思ったこと」をカードに書いてもらい、さらに各グループで整理して発表をしてもらいました。自分達のグループや他のグループの発表を受けて、各自で「次年度の課題研究の目標」を立ててもらいました。ワークショップには、全1年生の約200名が参加し、体育館に床座りして、和やか・和気あいあいとした雰囲気で行われました。



発表の様子



ワークショップ中の様子

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）